火災危険性を有するおそれのある物質の調査方法フロー

- 【第一次候補物質の抽出】

国内外の事故調査

各種データベース等において過去1年間に新たに追加・報道されたもの

文献調査

各種文献・資料等で新たに確認されたこれまでに危険物確認試験を実施していない物質

未実施物質の調査

平成25年度までの調査において、新規危険性物質として抽出されていたが、これまでに危険物確認試験を実施していない物質

用途及び流通量を調査

用途及び流通量を調査

【第二次候補物質の選定】

②製造・輸入量100t/年以上の化学物質

③製造・輸入量100t/年未満の化学物質

流通量不明の化学物質

①火災・爆発事故に関与した可能性のある化学物質

④用途のみが把握できた化学物質

⑤用途及び流通量が把握できない化学物質

<u>グループ化・優先順位の決定</u>

①火災・爆発事故に関与した可能性のある化学物質
②製造・輸入量100t/年以上の化学物質
③製造・輸入量100t/年未満の化学物質
④用途のみが把握できた化学物質
⑤用途及び流通量が把握できない化学物質

【火災危険性評価】

第二次候補物質に選定された新規危険性物質について、当該物質ごとに想定される火災危険性に応じた危険物確認試験を行う